

マörder

ゲームに従い、他の参加者を能動的に殺害するキャラクターのことを指す。
訳に照らすと誤り（正確にはマörder）らしいが既にマörderで定着。
オリバトではジェノサイダーを略してジェノと呼ばれる。
その行動は「バトル・ロワイアル」で第六十八番戦闘プログラムの趣旨に則り次々とクラスメイトを殺害した桐山和雄・相馬光子のデッドコピーに過ぎない物から、
パロディ元を咀嚼した上でそのキャラクターの性格・特徴を見事に体現した物まで
千差万別である。

【派生スタンス・手段別】

ステルスマörder

ゲームに反抗する人間の中に身を潜めつつ隙を狙うといった、
あたかもゲームに乗ってはいないかのように振る舞う謀略系マörderの事。

主な傾向としては、

1. 「誰にも見られていない間を狙って人を殺す」
2. 「無理に健常者に挑まず、他の戦闘などで弱った者を狙う」
3. 「食事に毒を盛るなどでパーティー内に疑心暗鬼を生み出す」
4. 「他の参加者に誤った情報を流し、混乱させる」 勘違いマörder->#misMの生産
5. 「他の参加者を口車に乗せ、マörder化させる」 被強要マörder->#intM、人形マörderの生産

といったものが見られる。
上記の4, 5にことさら特化したタイプを扇動マörderと呼ぶこともある。
神算・鬼謀を得意とするキャラが、自身の力を温存しながらゲームを進める目的でこの手を執っている傾向が見られるが、一般人キャラもステルスマörderには成り得る。
一般人特有の「一見何も出来ないかのような風貌」が大きなアドバンテージとなるためだ。

扇動マörder

自らは手を下さず他者の間に不協和音を振りまく。ステルスマörderの派生系。
中には「強い参加者を利用して人を減らす（殺害は弱い参加者を優先）」という扇動型のスタンスのほすが、「
」と、まるで強者限定マörderのようなksk口ワの「
」。 (ネタバレのため伏字)
やはり扇動のほすが「
」というジャンプロワの「
」のような例もある。(ネタバレのため伏字)

アサシンマörder

ステルスマörderと双璧をなす、もう一つの知能派マörder。
ステルスマörderは参加者間に潜伏し、腹芸や口車を用いて人心をかき乱すのに対し、
アサシンマörderは徹底して参加者の輪の外側に立ち、岡目八目式に参加者の行動を分析し、他者の殺害の布石を打つ。
他の参加者に面が割れたり、その存在を察知されたりするのを嫌うのも、アサシンマörderの特徴である。
参加者の行動を先読みした上で予想針路上に罠を張ったり、
参加者らが混乱状態になっているところに、混乱の輪の外側から攻撃を加えたり、

